観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 7 年　7 月 31 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･[地域ＤＭＯ]	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人 志摩市観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 三重県　志摩市	
所在地	三重県志摩市阿児町鵜方 1670 番地 2	
設立時期	平成 17 年 4 月 1 日 志摩市観光協会 設立（平成 29 年 4 月 3 日法人化）	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	20 人【常勤 6 人（正職員 4 人・出向等 2 人）、非常勤 14 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名）中村　　滋 （代表理事） （出身組織名） （一社）志摩市観光協会	（一社）志摩市観光協会の会長として、地域の様々なパイプ役となっており、三重県商工会青年部連合会理事や日本青年会議所東海地区協議会三重ブロック監事、志摩青年会議所理事長、志摩市商工会青年部長の役職を歴任している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー	（氏名） 鈴木　隆 「専従」出向（専務理事） （出身組織名） 志摩市役所	平成 16 年 10 月の志摩市発足以前の旧磯部町役場に入庁後、通算 21 年間観光行政に従事。 令和元年からは、志摩市観光課課長として地域の観光事業の企画・運営を行う。 令和 7 年 4 月から志摩市観光協会にて業務を行い、6 月 30 日の定期総会で専務理事に就任。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	同上	同上
販売旅行商品の造成等旅行業務取扱い・プロモーション責任者	（氏名）岡田　英美 「専従」派遣 （出身組織名） （株）近畿日本ツーリスト中日本支社	1988 年近畿日本ツーリスト入社以降、教育旅行関連業務に長年従事。2014 年には、近畿日本鉄道に出向し、伊勢志摩地域への送客事業や本市で開催されるスポーツイベント等を多数担当。2019 年に近畿日本ツーリスト中部地域交流部に配属されて以降も、当市への誘客事業に数多く携わり、本地域の観光産業・資源への知見が深い。 ※総合旅行業務取扱管理者

様式１

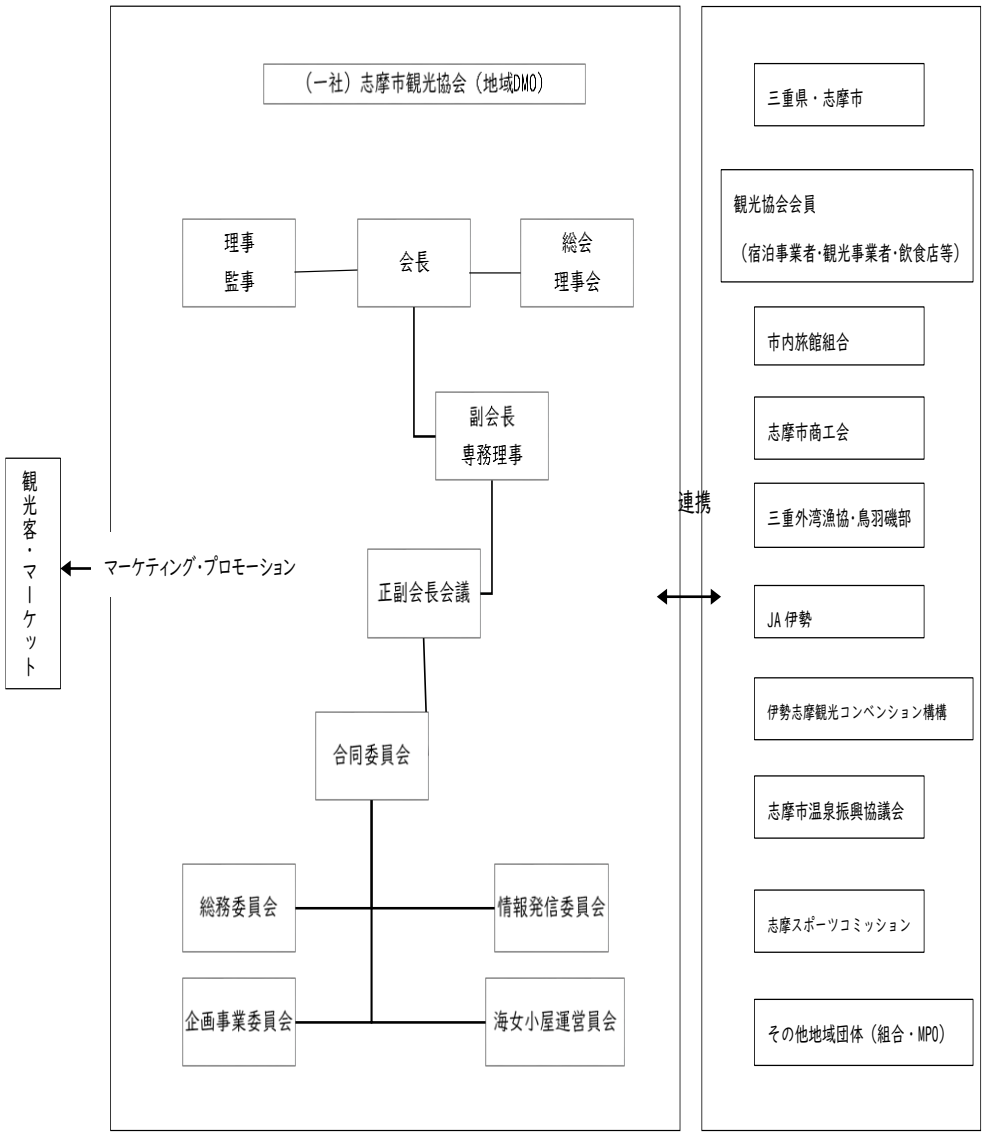
<table>
<tr><td>インバウンドの責任者（専門人材）</td><td>（氏名）城　貴道
統括マネージャー（専任）
（出身組織名）
（一社）志摩市観光協会</td><td>三重県、志摩市、伊勢志摩観光コンベンション機構等と連携し、国内外プロモーション等海外誘客事業に取り組む。</td></tr>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td colspan="2">志摩市
観光経済部　観光プロモーション課（観光戦略・振興）
水産農林部　水産課（水産振興）、農林課（農業振興）
政策推進部　総合政策課（政策調整・地域活性化）
教育委員会　生涯学習スポーツ課（スポーツ、日本遺産、文化振興）
建設部　建設整備課（道路）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td colspan="2">志摩市商工会〈事業者支援、物産振興、着地型観光〉
各地区旅館組合「５地区８団体」〈受入体制整備、着地型観光〉
JA 伊勢阿児支所〈着地型旅行商品造成、物販仕入〉
JF 三重外湾漁協・鳥羽磯部漁協〈着地型旅行商品造成〉
（公社）三重県観光連盟〈広域観光、プロモーション〉
（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構〈広域観光、プロモーション〉
近畿日本鉄道（株）〈一次交通〉
三重交通（株）・三重近鉄タクシー（株）・（有）和栄タクシー・志摩マリンレジャー（株）〈二次交通〉
（一社）志摩スポーツコミッション〈スポーツイベント〉</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td colspan="2">【該当する登録要件】②
・毎年 6 月に「定時会員総会」を開催し、事業報告・収支決算の承認を得るとともに、事業計画及び収支予算の承認を得て、合意形成を行っている。
・協会の役員（理事）には地元観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政（オブザーバー）が参画。理事会において意思決定が成される。
・下部組織には 4 つの委員会（総務、企画事業、情報、海女小屋）を設置。それらの横串となる合同委員会も設置して連携を諮っている。
・協会内で毎週の「業務進捗状況」を報告するミーティングを開催して役員や市の関係者にも連携。加えて 2 カ月毎に市および伊勢志摩観光コンベンション、近鉄との連携会議も開催し、官民・産業間・地域間との合意形成の機会を設けている。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td colspan="2">・「志摩検定」講座を実施。観光ガイド養成も行い周遊観光タクシー（実証事業）に乗務。今後は観光資源のテキスト化にも取り組む。
・毎年、志摩市商工会と賀詞交歓会を共催し、市内経済団体、事業者の観光振興への協力体制を深めている。
・市内高校生の職場体験事業の受入れ協力や志摩市をはじめとする種々の会議等への参加、協力を通じて、幅広く観光振興への理解を得られるよう取り組んでいる。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・インバウンドにおいては東アジア、東南アジアを中心とした団体ツアー及び高付加価値旅行獲得のために国内外の旅行会社、ランドオペレーターとの商談やセールス、情報交換、各種問い合わせ対応を 332 件実施。各組織からの招聘事業等における施設受入、視察アテンドも 57 件実施（旅行会社の</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		他、国内外インフルエンサー、メディア等)。リアルおよびオンラインの会議も 106 件実施。 ・教育旅行誘致においては、コロナ終息後も引き続き来訪いただけるための取組を実施。「満足度向上」を図るため、来訪された生徒先生に記念品（あおさ風味のベビースターラーメン）を贈呈。併せてアンケートを通じて今後の意向データを収集し、誘致活動に活用している。 ・主催イベントとして「志摩フェスタ in 大阪」を開催し、関西エリアでの志摩ＰＲを実施した他、国内でのプロモーションとしては近鉄と連携し、近鉄主催のイベントへの参画（鉄道まつりなど）を通じた観光ＰＲや「海女さん列車」の運営を通して海女文化のＰＲにも貢献した。 ・当協会が運営する海女小屋体験施設「さとうみ庵」の利用者増加を図るため、国内外へのセールスや商談会へ参加した他、様々なイベントへの海女派遣を通じて海女文化及び海女漁の現状の周知に努めた。クールジャパンアワード 2019、トリップアドバイザー「エクセレンス認証」(2019)、「トラベラーズチョイス」(2020～2022)、ジャパントラベルアワード 2024 特別賞受賞。
	受入環境の整備	・公式ＨＰのアクセス数増加のため、様々な取組（翻訳のクオリティー向上、特集記事の制作、情報発信の頻度向上）を実施。 ・近鉄鵜方駅内の観光案内所については、多言語対応（スタッフの充実、標記類の更新）の整備を推進（JNTO 認定観光案内所カテゴリー3 取得（県下初認定）） ・道の駅伊勢志摩の指定管理を市から受託し、鵜方駅内の観光案内所と合わせ、車と公共交通の両方の利用者をカバーしている。 ・案内所窓口においてレンタサイクルや手荷物預かり（市内ホテルへの配送も)、wi-fi ルーターレンタル業務を実施。
	観光資源の磨き上げ	・日本遺産である海女文化、英虞湾、真珠の志摩三大コンテンツについて、一昨年に実施した観光庁の「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」や、三重県の「拠点滞在型観光×三重ブランディングに向けた観光資源の魅力創出モデル事業」を軸に、富裕層をターゲットとしたプレミアムツアーの造成、販売整備、情報発信を継続的に実施。加えて昨年度からは「食」をテーマに志摩の魚介を活用した「魚さばき体験」も始めており好評を博している。

【定量的な評価】

会員数は、令和 7 年 3 月 31 日現在３６６会員
（主に市内の主要な事業者が加入している状況）

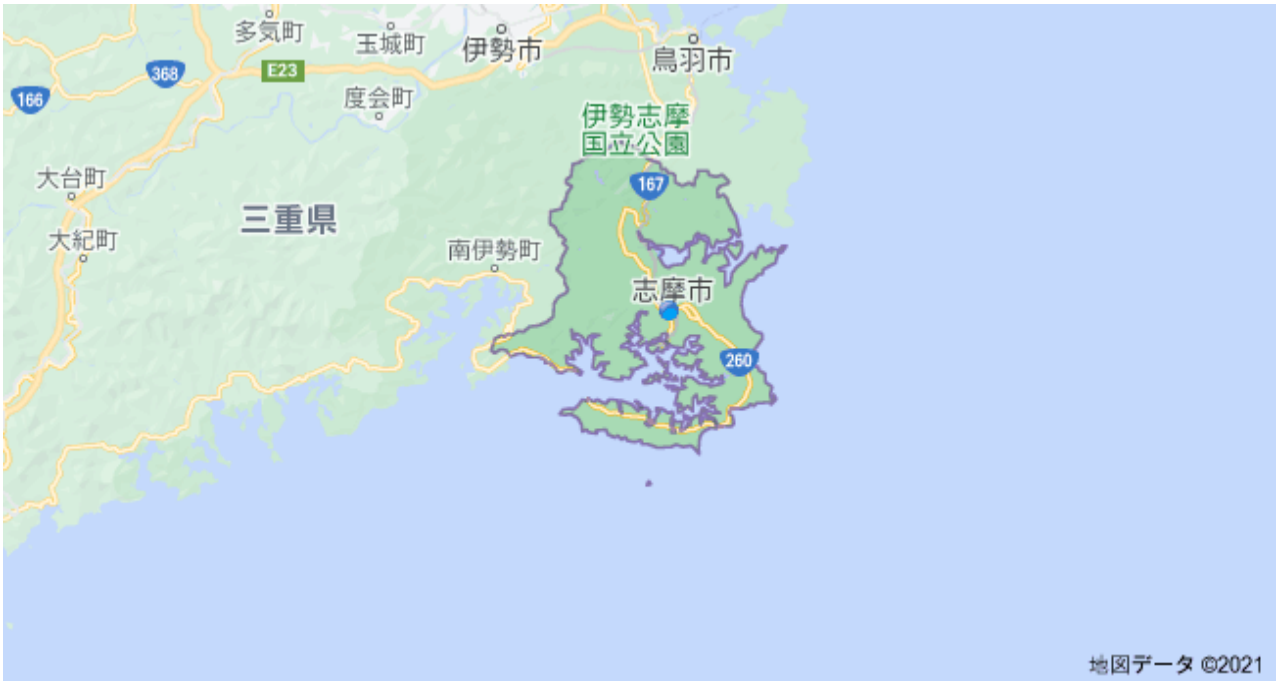
様式１

実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** （一社）志摩市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者に加え、交通事業者、アクティビティー、農林水産事業者、商工業事業者等、多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

2016 年に先進国首脳会議（伊勢志摩サミット）が市内の賢島で開催された志摩市は、英虞湾に浮かぶ大小およそ 60 の島々、岬や入り江などが織り成すリアス海岸と呼ばれる複雑な海岸線からなる日本の原風景とも呼べる景色と古くから朝廷や神宮に食料を献上していた歴史があり、良質な海産物が豊富である。

市の全域は伊勢志摩国立公園に含まれ、その大部分が民有地である。古くから自然と共生し、海女や真珠養殖などに代表される自然の恵みを持続可能な形で生業としてきたこの市域を区域として、DMO 運営を設定することで、「SDGs 未来都市」、「ゼロカーボンパーク」を標榜する志摩市とも、より一層の連携を図るものである。

面積：178.95km2（平成 29 年全国都道府県市区町村別面積調）

人口：43,743 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

【観光客の実態等】

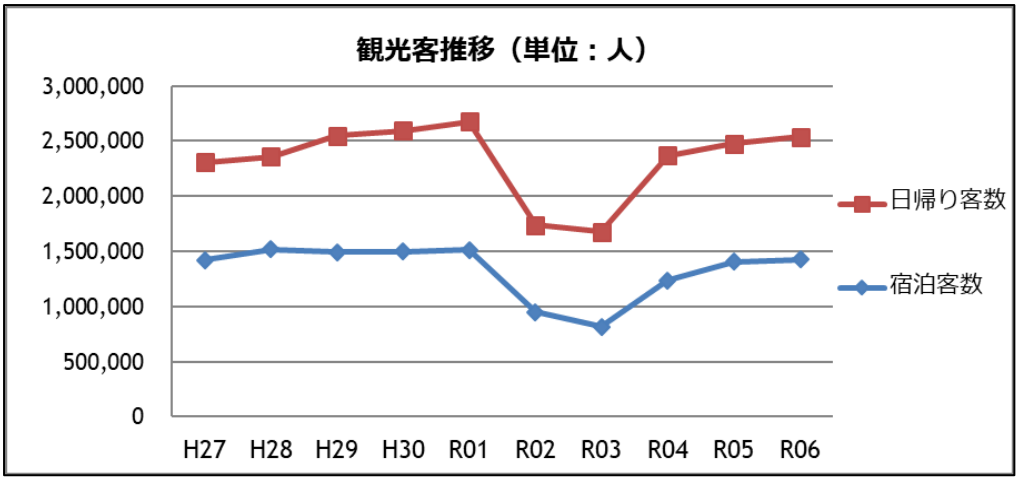
令和 6 年の観光入込客数は約 395.9 万人となり、前年比 75,212 人増（＋1.9%）。また、コロナ禍以前の令和元年と比較すると、94.6%（▲5.4%）となった。【図１】

市内のテーマパーク「志摩スペイン村」が開業 30 周年を迎え、イベント等の様々な取り組みが行われた結果、市内全体に波及効果があり、観光施設・宿泊施設ともに前年を上回る入込客数となった。

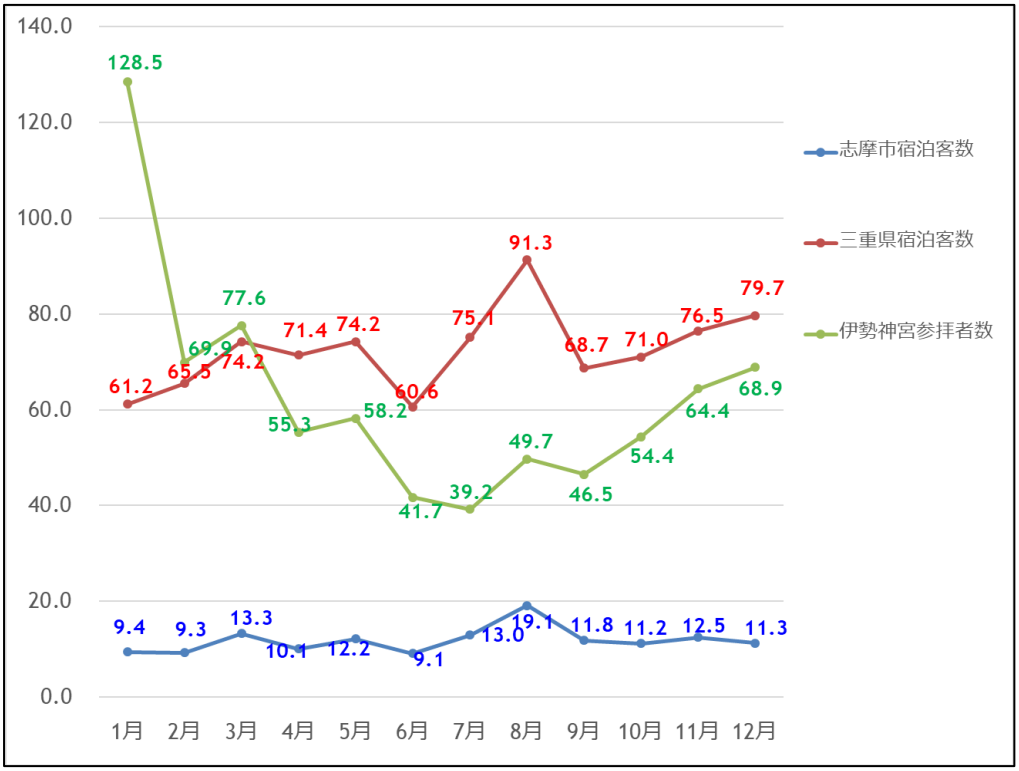
■【図１】志摩市入込客数

			R06（人）	R05（人）	前年比（%）
合計			3,959,041	3,883,829	101.9
	日帰り客数		2,535,306	2,477,847	102.3
	宿泊客数		1,423,735	1,405,982	101.3
		うち外国人	33,322	33,241	100.2

■【図２】直近 10 年の観光客数の推移



■【図３】志摩市・三重県の宿泊客数及び伊勢神宮参拝者数（年間推移）



【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

主な観光施設として、テーマパーク志摩スペイン村、令和 6 年 7 月に新規オープンした志摩グリーンアドベンチャー、志摩市観光農園、志摩地中海村、伊勢神宮別宮の伊雑宮、横山展望台（景観）や参観灯台（安乗埼・大王埼）のほか、ラグジュアリーホテルからグランピング施設（キャンプ場含）など、多様なタイプの宿泊施設がある。

志摩には地域の祭りも多く、国指定重要無形民俗文化財「磯部の御神田」や「安乗の人形芝居」のほか、潮かけ祭、わらじ祭など、歴史のある伝統行事が受け継がれ、多くの見学客が訪れている。

・志摩半島では全国で最も多くの海女が操業している。市内には海女文化を体験できる海女小屋体験施設『さとうみ庵』があり（当協会が運営）、海女が漁の間に休憩する海女小屋を模した建物の中で、伊勢えびやあわび等、旬の地元食材を海女に焼いてもらいながら食事をすることができる。

・志摩市（英虞湾）は真珠養殖発祥の地であり、市内には真珠の取り出しや真珠を加工してオリジナルのアクセサリー作りができる施設がある。
・志摩の豊かな自然、温暖な気候により、スポーツ（イベント）も盛んである。
伊勢志摩ツーデーウオーク（ウォーキング）
志摩ロードパーティ（マラソン）
伊勢志摩サイクリングフェスティバル
伊勢志摩・里海トライアスロン大会
伊勢志摩ササユリカップシニアソフトボール大会
伊勢志摩ビーチラグビーFESTA
志摩ビーチサッカーFESTA
海水浴場（市内５ヵ所）
ゴルフ場（市内３カ所）
サーフィン、ダイビング、カヤック、釣りなどのマリンアクティビティ

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

令和 6 年度調査実施時点での志摩市内の宿泊施設数は 146 施設、市全体の 1 日当たりの宿泊客収容人数は、12,671 人となっている。

■【図１】地区別 宿泊施設収容力

		施設数（施設	部屋数（部屋	収容人数（人
志摩市		146	3,665	12,671
	阿児	69	1,385	4,267
	浜島	16	609	1,848
	大王	15	255	1,482
	志摩	28	364	1,835
	磯部	18	1,052	3,239

■【図２】施設形態別 宿泊施設収容力

		施設数（施設	部屋数（部屋	収容人数（人
合計		146	3,665	12,671
	国際観光ホテル整備法（登録ホテル）	9	1,070	2,098
	国際観光ホテル整備法（登録旅館）	10	515	2,200
	その他ホテル・旅館	71	1,630	5,614
	民宿	28	187	616
	ペンション・ユースホステル	12	98	440
	保養所	5	31	110
	その他(キャンプ場、バンガロー、コテージ他)	11	134	1,593

（※１）国際観光ホテル／旅館：1949年（昭和24年）12月24日に施行された国際観光ホテル整備法（昭和24年12月24日法律第279号）に基づき、観光庁長官が登録を行ったホテルや旅館。
【R05.1.11時点　志摩市内の登録ホテル／旅館】
登録ホテル：志摩観光ホテルザクラシック、ベイスイート、ホテル志摩スペイン村、クインテッサホテル伊勢志摩、都リゾート奥志摩アクアフォレスト、ホテルプロヴァンス、Hotel&Resorts ISE-SHIMA、志摩地中海村、海辺のホテルはな、都リゾート志摩ベイサイドテラス
登録旅館　：宝来荘、賢島宝生苑、ともやま観光ホテル、福寿荘、賢島パークホテルみち潮、ニュー浜島、シーサイドホテル鯨望荘、はいふう、汀渚ばさら邸、賢島グランドホテル、リゾートホテル志摩彩朝楽

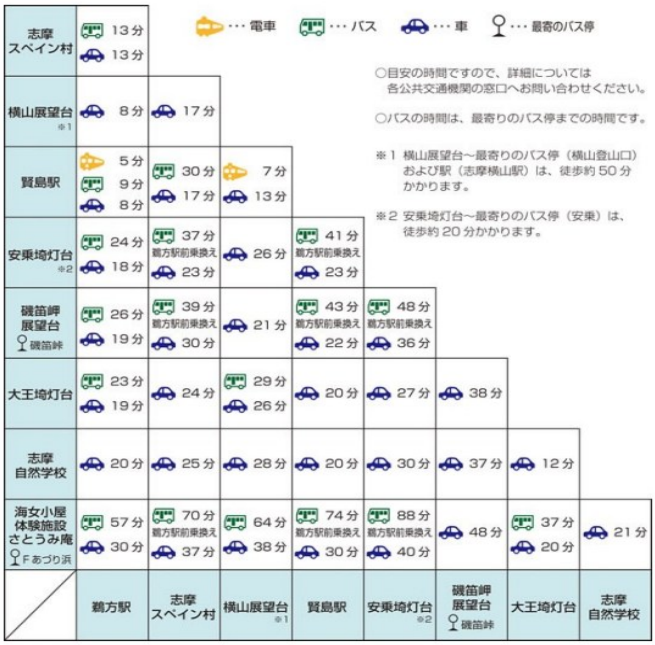
様式１

【利便性：区域までの交通、域内交通】

鉄道網は近畿日本鉄道（近鉄）志摩線が敷設され、大阪・京都・名古屋方面など、近鉄の主要な路線網を介して各地と結ばれており、道路網は国道 167 号線と 260 号線が市域を縦貫している。

その他の主要な道路は県道 16 号と 17 号が市の西側に延びており、前者は的矢と五ヶ所浦（南伊勢町）を、後者は鵜方と浜島を接続しているほか、伊勢市と繋がる県道 32 号（伊勢道路）および、的矢湾付近を経由し鳥羽市の生浦湾までを結ぶ観光道路の県道 128 号（パールロード）がそれぞれ放射状に延びている。

なお、海上区間には航路があり、間崎島と渡鹿野島には本州と架橋されていないため志摩マリンレジャーによる定期船と志摩市運用の県道船などが運行されているほか、英虞湾遊覧船などが運行されている



【外国人観光客への対応】
令和 3 年度 JNTO 認定観光案内所のカテゴリー3 を取得。外国人への対応とおもてなしを対面で行っている。また、横山展望台から復路でタクシーを利用する際の配車要請において、電話ができないインバウンド客を対象に、google フォームによる配車依頼システムを構築し活用している。
当協会が運営している海女小屋体験施設「さとうみ庵」も多言語ホームページや英語併記のパンフレットを活用している。
さらに平成 26 年度より外国人観光客誘致推進員を志摩市の予算措置を受けて配置し、三重県、伊勢志摩の行政・民間施設・各種団体との広域連携とセールス活動、情報発信を行っている。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光消費額の拡大を目指し、一人当たりの消費額を上げる質の高い観光地づくりを行うための指標とする。	三重県観光レクリエーション入込客推計書の伊勢志摩における消費単価を参考とする。
延べ宿泊者数	志摩市の延べ宿泊者数を把握し、市内滞在時間増加のための指標とする。	観光協会で実施する調査に基づき算出される志摩市観光統計の延べ宿泊者数を参考とする。
来訪者満足度	顧客満足度から質の高い魅力ある観光地づくりの指標とする。	三重県観光レクリエーション入込客推計書の伊勢志摩における全国基準による四半期毎の調査実施。
リピーター率	顧客ニーズの把握	同上
ＷＥＢサイトのアクセス状況	志摩市等の観光情報発信を行うとともに、地域に対する顧客の需要や関心度や施策の効果等を把握するため、多言語ページ、AI チャットボットもあわせて構築。	グーグルアナリティクス等を活用し、アクセス数をはじめとするサイトの分析を実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	市が実施するアンケート調査の「志摩市の魅力（誇れること）を人に語る（伝える）ことができますか」「志摩市の一番の魅力（誇れること）を教えてください」および自由記述の内容を参考にしている。
外国人観光客数	外国人観光客数を把握し、セールス活動や受入れの体制づくりに係る施策の指標とする。	インバウンド専任職員による市内施設への調査をもとに算出している。
観光経済波及効果	観光産業による市内への経済波及効果を拡大することを目的として、３～５年に一度の経済波及効果を調査し、観光消費額及び域内調達率の向上に向けた施策を行うための指標とする。	市内の観光に関わる事業所への域内調達率調査（経済センサスデータ参照）、観光客の消費額調査、年間観光客数調査からの算出を検討する。

様式１

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

志摩市は、若者の都市部への流出と少子高齢化による影響を受けた人口減少が進み、同時に高齢化率の増加により、地場産業の担い手不足が顕著な状況で、事業所や就業者が減少傾向にある。

こうした地域の課題に対し、恵まれた豊かな自然から生み出されるまちの魅力を最大限利活用し、観光資源として顧客視点に立った観光地域づくりを推進し、外貨獲得の手段として観光産業の振興を図る必要がある。また、新たな自然体験コンテンツ等を充実させることで、交流人口の増加につなげ、雇用の創出や既存産業の担い手不足の解消につながる取組みを実施する必要がある。

今回、当協会が中心となり、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）として、官民一体となり連携をすることで、全域が国立公園である当市が、自然公園を国民の財産として新たな磨きをかけた観光地として、地域経済の維持・発展のため、志摩市の総合計画・観光振興計画との整合性を保ちながら、地域の中心となって事業を推進していく。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** ・日本の原風景と呼ばれる自然環境、歴史、文化 ・自然の恵みに育まれた食文化、海女文化等の豊かな観光資源 ・高級リゾートホテル・旅館・民宿・キャンプ場（グランピング）等の幅広い宿泊施設 ・御食国の魅力ある食文化 ・温泉施設 ・JNTO 認定観光案内所カテゴリー3 取得	**弱み（Weaknesses）** ・伊勢神宮の近隣というロケーションのポテンシャルを活かしきれていない ・観光施設等の様々なコンテンツ間を結ぶ、移動手段としての二次交通の脆弱さ ・観光業における繁閑差（入込の局地化） ・情報発信力不足 ・市内各種団体との広域連携が弱い
外部環境	**機会（Opportunity）** ・伊勢志摩サミットおよび交通大臣会合開催地としての知名度の向上 ・全国から来訪する伊勢神宮参拝者の市内への誘客 ・「海女（Ａｍａ）に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち」文化庁「日本遺産」認定 ・リニア中央新幹線開通	**脅威（Threat）** ・農林業、漁業、観光業従事者の高齢化による従事者不足 ・台風などの風水害による影響の受けやすさ ・南海トラフを震源とする大規模地震の発生リスク ・人口減少、過疎化 ・磯焼けによる海産物や海女漁の減少 ・公共交通の交通網や運行回数の減少

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
・国内：中部圏のアクティブシニア層とファミリー層
・海外：台湾・香港 FIT 訪日リピーター層の内、上位中間～富裕層

〇選定の理由
・国内：伊勢神宮参拝において日帰り圏内であるエリアであり、参拝客に対し志摩の魅力を訴求することで、志摩へ足を伸ばし宿泊に繋げられる可能性が高い。
・海外：親日性・リピーター率・日本文化への関心の高い国であり、県の施策とも連携。長期滞在による観光消費額の向上も見込む。

〇取組方針
・国内：近鉄と連携したキャンペーンの参画、公式ホームページやＳＮＳでの情報発信を継続的に実施していく。
・海外：台湾・香港等の海外の旅行者が、安心・安全に志摩に滞在できるようにするための受入環境の整備を行っていく。

〇第２ターゲット層
・国内：発地率の最も高い大阪府とその他関西圏のアクティブシニア層とファミリー層
・海外：欧米、訪日リピーター層の内、上位中間～富裕層

〇選定の理由
・国内：発地率の最も高い地域。近鉄線で大阪、京都から直通列車が運行されており交通アクセスが良好（鉄道・高速道路）である。修学旅行で来訪する学校も多くあることから、将来的な再訪に向けた取り組みも可能である。
・海外：Ｇ７伊勢志摩サミットの開催により飛躍的に知名度が向上し、順調に推移してきた入込客数は、旅行単価が高く、観光消費額の向上効果が見込まれる。AMANEMU・志摩観光ホテル（ベイスイート）等高級リゾートホテルを始め、グランピング施設も充実し、宿泊受入環境が整っている。

〇取組方針
・国内：近鉄の利便性や高速道路網の充実による伊勢志摩へのアクセスの良さをさらに訴求し、神宮参拝客を志摩に取り込むためのＰＲを継続的に実施していく。教育旅行においては今後も継続的に来訪いただくための満足度向上の取組を実施していく。
・海外：欧米等の海外の旅行者が、安心・安全に志摩に滞在できるようにするための受入環境の整備を行っていく。

〇第３ターゲット層
・国内：三重県内のアクティブシニア層とファミリー層
・海外：タイ、東南アジア諸国

〇選定の理由
・国内：県内の来訪が最も多い（令和5年三重県観光客実態調査報告書）ことから、コロナ禍以降、県内および近隣志向が続いていることの表れとも捉えられる。
・海外 県の観光施策とも連携し、主要なターゲットに位置づけられる。

〇取組方針
・国内：旅行目的として「テーマパーク」が最も多いことから、志摩スペイン村や新たなアクティビティー施設のトピックスなどを積極的に発信し、来訪客数の底上げにつなげていく。
・海外：タイ・東南アジア諸国等の海外の旅行者が、安心・安全に志摩に滞在できるようにするための受入環境の整備を行っていく。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「豊かな自然と共生する歴史・文化・海女に出会えるまち志摩」 ・恵まれた豊かな自然から生み出される志摩市の魅力の情報発信 ・食・歴史・文化・温泉等を利活用した、自然体験コンテンツの充実 ・癒しの受入環境の整備

②コンセプトの考え方	伊勢志摩国立公園に位置する地域特性を踏まえ、豊かな自然、歴史、伝統、地域のライフスタイルや食文化、スポーツなどを活かした体験型観光コンテンツにより、魅力の発信とリピーター（志摩市ファン）を増加させ、持続可能な観光地経営を実践する。 宿泊滞在の長期化を目指し、観光客のニーズに合ったこの地ならではの、真珠の核入れ・ 取り出し・加工体験や海女と一緒に潜る海女漁体験等の提案を行い、地域全体でのおもてなし連携体制の構築を図る。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	正副会長・専務理事及び事務局による正副会長会議、各理事が担当する委員会（総務、企画事業、情報、海女小屋および合同）、他団体（志摩市観光課、伊勢志摩観光コンベンション機構、近鉄など）との会議
	正副会長会議（理事会前に随時）を中心として、各委員会（不定期開催）からの意見や要望を理事会（年６回）において審議することで、市内の関連事業者との情報共有を図る。 取組の検証については、決算報告を理事会において審議し、承認後の通常総会において全会員に共有し承認を得て、地域の関係者に説明を行うとともに公表している。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	協会において定期的に観光アンケート調査（観光案内所、道の駅、レンタサイクル、横山 VIEW タクシーの各利用者）を実施。 伊勢志摩観光コンベンション機構が実施する旅行者アンケートと合わせ、定期的に採取することで顧客サービスのニーズを把握し、利便性の向上を図っている。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	地域観光のプラットホームとして、近鉄鵜方駅構内に案内所と事務所を構えている。地域ＤＭＯとして、地域の様々な情報を集約し、顧客に対しワンストップ窓口として、満足していただけるよう体制づくりを行っている。 また、集約した情報は、積極的に公式ホームページやＳＮＳ等を活用し効果的な情報発信を行っている。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	71,400	76,500	68,000	70,000	72,100	74,200
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	53,122	63,345	69,981			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	1,300	1,300	1,500	1,550	1,600	1,600
		（ ）	（ ）	（ ）	(50)	(60)	(70)
	実績	1,236	1,405	1,423			
		(4)	(33)	(33)			
●来訪者満足度（%）	目標		98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	97.4	97.6	97.3			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	89.0	90.0	87.0	88.0	88.0	88.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	82.8	86.0	87.0			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

目標数値については、国、県、市等の各種データを分析し算定。現在は、志摩市観光協会内の各委員会、理事会において、事業計画（予算）策定の協議の際に検討されるが、協議会の立ち上げ後は、連携を密に目標数値の設定を図る。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

市内周遊、滞在を促し、消費額の増加につなげるための成果を把握して、より効果的な企画立案につなげる。三重県観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査、志摩市観光統計（インバウンド）に基づき算出。

●延べ宿泊者数

上記の各種統計調査を参照に、観光施策等が宿泊者の増加につながっているかを検証して、より効果的な誘客事業の企画立案につなげる。志摩市観光統計に基づき算出。コロナ禍以前の水準への回復を目途に推計。

●来訪者満足度

志摩市における観光の魅力づくり、地域・人づくりの各種取組の成果を測る。三重県観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査に基づき算出し目標値を設定。

●リピーター率
新規来訪者を獲得することとあわせ、志摩市ファンの増加を目指し、再訪の動機となる新たな観光の魅力づくり、地域・人づくりの各種取組の成果を測る。三重県観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査に基づき算出し目標値を設定。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●ふるさと納税事務取扱手数料（千円）	目標	6,700	7,000	7,500	8,100	8,300	8,500
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	6,976	7,410	7,994			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●海女小屋体験施設「さとうみ庵」売上額（千円）	目標		45,000	75,000	85,000	85,000	85,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	54,897	75,940	86,177			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●地域限定旅行業取扱手数料（千円）	目標	1,000	2,800	5,000	10,000	10,000	10,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	594	7,025	8,410			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●案内所窓口販売収入（千円）	目標	850	2,500	5,000	7,000	7,500	8,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	1,259	3,548	5,804			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
当協会が目指すまちは、豊かな自然から生み出される志摩の魅力を最大限に利活用し、市民一人ひとりが、この地を訪れる人々におもてなしができるまちです。令和４年７月の志摩市のまちづくに関するアンケート調査において、市民の６９％が市に愛着や誇りを感じるとともに、５３％が住みやすいと感じ、また６８％の市民が住み続けたいと思っている。その市の持つ魅力を伝えるために当協会は、収益を上げることで自主財源の確保と自立を目指して事業を展開している。

【設定にあたっての考え方】
●ふるさと納税事務取扱手数料
ふるさと納税の返礼品として、市内観光施設などで宿泊費・飲食費として利用できる満喫旅行券を取り扱っており、誘客に繋がり事業者（会員）への還元にもなっており地域の及ぼす経済効果も大きい。事務手数料についてもふるさと納税の納税総額が年々増加し、安定して推移している。

●海女小屋体験施設「さとうみ庵」売上額
協会直営で現役海女の火場焼飲食店を運営している。コロナ禍の感染拡大の影響を受けて落ち込んだが、５類に移行後はインバウンドの積極的な誘客を図り、決算額は過去最高となった。

様式１

●地域限定旅行業取扱手数料
　地域限定旅行業によるスポーツ大会などの宿泊斡旋などに加え、教育旅行の取り扱いも行った。今後は「海女」「真珠」といった志摩ならではのコンテンツを活用した高付加価値商品の造成およびインバウンドも対象としたプラットホームを活用した販売や、「志摩検定」認定者による観光ガイド付きの着型旅行商品などオリジナリティー溢れる商品を積極的に展開し、協会の新たな財源獲得の手段として育てていきたい。

●案内所窓口販売収入
　レンタサイクルや手荷物預かり、wi-fiルーターの貸出に加え、地域の物産販売を展開。今後も積極的に取扱商品を拡大していく計画である。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（千円）	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	158,741	【前年度繰越】 【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 【他団体補助金】	4,712 7,660 77,495 61,512 6,052 1,310
2023（Ｒ５）年度	197,453	【前年度繰越】 【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 【他団体補助金】 【その他雑収入】	2,749 7,682 99,814 79,033 4,539 1,310 2,324
2024（Ｒ６）年度	239,930	【前年度繰越】 【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【県補助金】 【市補助金】 【他団体補助金】	6,900 7,711 117,554 100,208 1,847 4,400 1,310
2025（Ｒ７）年度	243,965	【前年度繰越】 【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 【他団体補助金】	14,723 8,000 119,903 96,609 3,420 1,310
2026（Ｒ８）年度	228,310	【前年度繰越】 【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 【他団体補助金】	5,000 8,000 120,000 90,000 4,000 1,310
2027（Ｒ９）年度	233,310	【前年度繰越】 【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 【他団体補助金】	5,000 8,000 125,000 90,000 4,000 1,310

（２）支出

年（年度）	総支出（千円）	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	158,741	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	70,857 51,712 1,310 32,113 2,749
2023（Ｒ５）年度	197,453	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	82,613 70,840 1,310 35,790 6,900
2024（Ｒ６）年度	239,930	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	97,618 89,700 1,310 36,579 14,723
2025（Ｒ７）年度	243,965	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【資産等取得費】 【次期繰越収支差額】	98,435 91,772 1,310 39,895 6,900 5,655
2026（Ｒ８）年度	228,310	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	92,000 90,000 1,310 40,000 5,000
2027（Ｒ９）年度	233,310	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	95,000 90,000 1,310 42,000 5,000

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

【行政事業の受託による資金の確保】
志摩市からの観光案内業務や観光誘客および受入整備に関する事業を受託

【自主財源の確保】
安定した事業運営を進めるため、事業資金の確保を進めるため、下記事業を積極的に展開
・海女小屋体験施設「さとうみ庵」と体験型コンテンツとのセットメニューの情報発信と販売
・ふるさと納税返礼品の取扱範囲の拡大やＰＲ業務など、新たな手数料の確保
・志摩ならではの景観や味覚、文化をコンテンツとした着型旅行商品の造成、販売
・レンタサイクル事業や手荷物預かり・配送業務、wi-fi ルーターの貸出、物販といった窓口販売事業の強化

様式１

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

一般社団法人志摩市観光協会が、地域 DMO として機能することにより、志摩市の観光振興が図られ、地域経済の活性化に繋がるものと考えられることから、志摩市は、志摩市観光協会を地域 DMO として登録したいので、志摩市観光協会とともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

志摩市観光協会は、地域DMOとして志摩市や伊勢志摩コンベンション機構・三重県観光連盟等、各種団体と協議を行い、それぞれの役割分担の中で事業を展開している。
地域連携DMOである伊勢志摩観光コンベンション機構では、観光企画委員会により、事業戦略・マーケティング戦略等の役割分担について市町・各種団体と検討している。

【区域が重複する背景】
伊勢志摩観コンベンション機構は、地域連携DMOとして伊勢志摩地域６市町（伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町及び度会町）が一体となった面としての観光振興事業を展開している。
当協会は、志摩市を軸に今後も伊勢志摩観光コンベンション機構と連携し、受入環境整備を重視し事業展開を行っていく。

【重複区域における、それぞれのDMO の役割分担について】、【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】
当協会は、役割分担の中で受入環境整備に重点を置きつつ、情報発信の強化、新たな自然体験コンテンツの創出、二次交通の対策、案内業務の充実等、各種の取組を進めている。具体的には、ホームページの改修、ＳＮＳの積極的な活用、観光案内所（鵜方駅構内）の改修とJNTOカテゴリー3案内所の取得、道の駅「伊勢志摩」案内所の指定管理受託等、来訪客の満足度を高める事業を引き続き実施していく。
今後も志摩市内の観光事業者等との連携のハブ機能を果たすことで、伊勢志摩の地域 DMO として伊勢志摩観光コンベンション機構との連携において、より効率的、効果的な活動が遂行されるものと確信している。

様式１

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	鈴木　隆
担当部署名（役職）	専務理事
郵便番号	517-0501
所在地	三重県志摩市阿児町鵜方 1670-2（近鉄鵜方駅改札階）
電話番号（直通）	0599-46-1112
ＦＡＸ番号	0599-43-8321
Ｅ－ｍａｉｌ	t-suzuki@kanko-shima.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	三重県 志摩市
担当者氏名	谷水　貴志
担当部署名（役職）	観光経済部 観光プロモーション課 課長補佐兼観光戦略係長
郵便番号	517-0592
所在地	三重県志摩市阿児町鵜方 3098-22
電話番号（直通）	0599-44-0005
ＦＡＸ番号	0599-44-5262
Ｅ－ｍａｉｌ	Tanimizu-takashi@city.shima.mie.jp

都道府県･市町村名	
担当者氏名	
担当部署名（役職）	
郵便番号	
所在地	
電話番号（直通）	
ＦＡＸ番号	
Ｅ－ｍａｉｌ	

（登録）【地域DMO】一般社団法人　志摩市観光協会

様式2

記入日：　令和　7年　7月31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　三重県志摩市
【設立時期】　平成29年4月3日
【設立経緯】
　③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】　中村　滋
【マーケティング責任者（CMO）】　鈴木　隆
【財務責任者（CFO）】　鈴木　隆
【職員数】　20人（常勤6人（正職員4人・出向等2人）、非常勤14人）
【主な収入】
　事業収入　117,554千円、受託事業　100,208千円（令和6年度決算）
　会費　7,711千円　　事業補助金　6,247千円　等
【総支出】
　事業費　187,318千円、一般管理費　36,579千円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
　伊勢志摩観光コンベンション機構、志摩市商工会、志摩スポーツコミッション、志摩市温泉振興協議会、志摩まちづくり株式会社等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	71,400（　）	76,500（　）	68,000（　）	70,000（　）	72,100（　）	74,200（　）
	実績	53,122（　）	63,345（　）	69,981（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	1,300（　）	1,300（　）	1,500（　）	1,550（50）	1,600（60）	1,600（70）
	実績	1,236（4）	1,405（33）	1,423（33）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	（　）	98.0（　）	98.0（　）	98.0（　）	98.0（　）	98.0（　）
	実績	97.4（　）	97.6（　）	97.3（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	89.0（　）	90.0（　）	87.0（　）	88.0（　）	88.0（　）	88.0（　）
	実績	82.8（　）	86.0（　）	87.0（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
・中部圏、関西圏、三重県内のアクティブシニア層とファミリー層
・台湾、香港FIT、欧州、米国、訪日リピーター層の上位中間から富裕層およびタイ、東南アジア諸国
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
　PRイベントの実施、近鉄との連携、積極的な国内外での商談会・セールスに参加
【観光地域づくりのコンセプト】
「豊かな自然と共生する歴史・文化・海女に出会えるまち志摩」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・日本遺産「海女」、英虞湾、真珠の3大コンテンツを軸に富裕層をターゲットとしたプレミアムツアーを造成、販売、情報発信を実施

【受入環境整備】
・横山VIEWタクシーの運行
・道の駅伊勢志摩の運営受託
・観光案内所のサービス向上（多言語、wi-fi、手荷物など）

【情報発信・プロモーション】
・積極的なインバウンド誘客活動（リアル、オンライン）
・教育旅行誘致
・温泉の知名度向上
・自主イベント（志摩フェスタ）の実施

【その他】
・志摩検定（講習、検定）
・近鉄との連携（海女さん列車、イベントの運営協力